

溶射を中心とした各種表面改質の総合メーカー

2019年3月期決算 会社説明会

2019年5月14日

代表取締役社長 三船 法行

1．会社概要

2．2019年3月期 連結決算の概要

3．2020年3月期 連結業績予想

4．持続的成長の実現に向けて

1. 会社概要

■ トーカロ株式会社

事業内容：溶射を中心とした表面改質加工

本 社：兵庫県神戸市

設 立：1951年7月

資本金：26億5,882万3千円

売上高：連結 395億58百万円（2019年3月期）

従業員数：連結 1,021名（2019年3月末現在）



当社の主な事業所

TOCALO



本社・神戸工場・明石工場・
溶射技術開発研究所

宮城技術
サービスセンター

水島工場

東京工場

北九州工場

名古屋工場



グループ会社



会社名	設立年月	本社	出資比率	主な事業分野
連結子会社				
日本コーティングセンター株式会社	1985年 4月	神奈川県	100%	PVD処理加工
東華隆(広州)表面改質技術有限公司	2005年 4月	中国 広東省	70%	溶射(鉄鋼他)
東賀隆(昆山)電子有限公司	2011年 5月	中国 江蘇省	90%	溶射(半導体・FPD)
漢泰国際電子股份有限公司	2011年 6月	台湾 台南市	50%	溶射(半導体・FPD)
TOCALO USA, Inc.	2015年11月	米国 CA州	100%	溶射(半導体他)

関係会社 (持分法非適用)

タイ1社、インドネシア2社 溶射(鉄鋼他)



さまざまな産業界に広がる事業領域

TOCALO

その他分野



その他表面処理加工
(TD/ZAC/PTA)

6%

鉄鋼分野



子会社

17%

海外

11%

国内

6%

その他

14%

鉄鋼

9%

産業機械

11%

半導体・FPD

43%

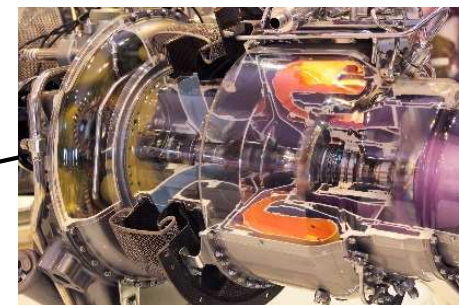
溶射加工(単体)

77%

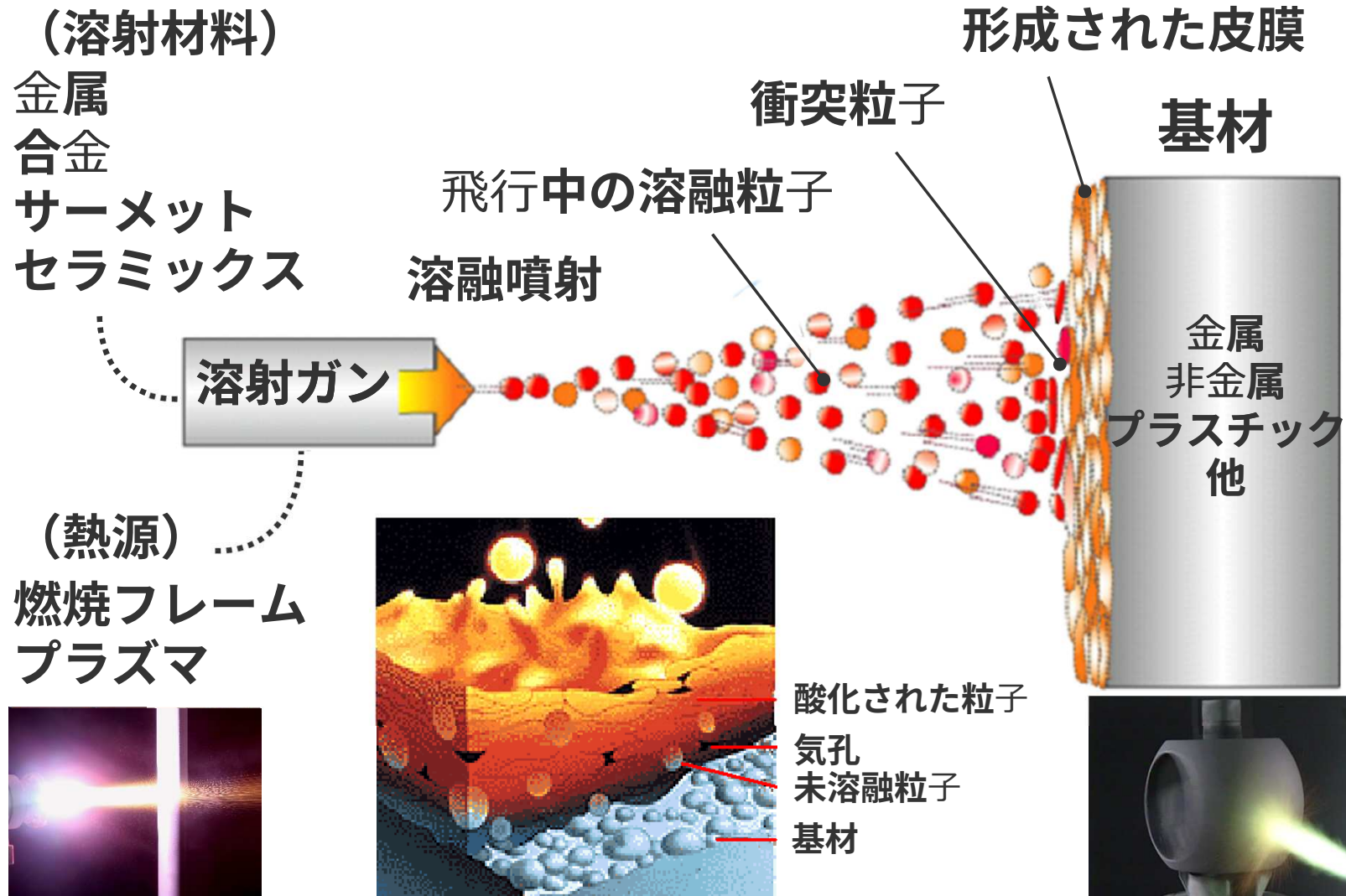
半導体・FPD (フラット
パネルディスプレイ) 分野



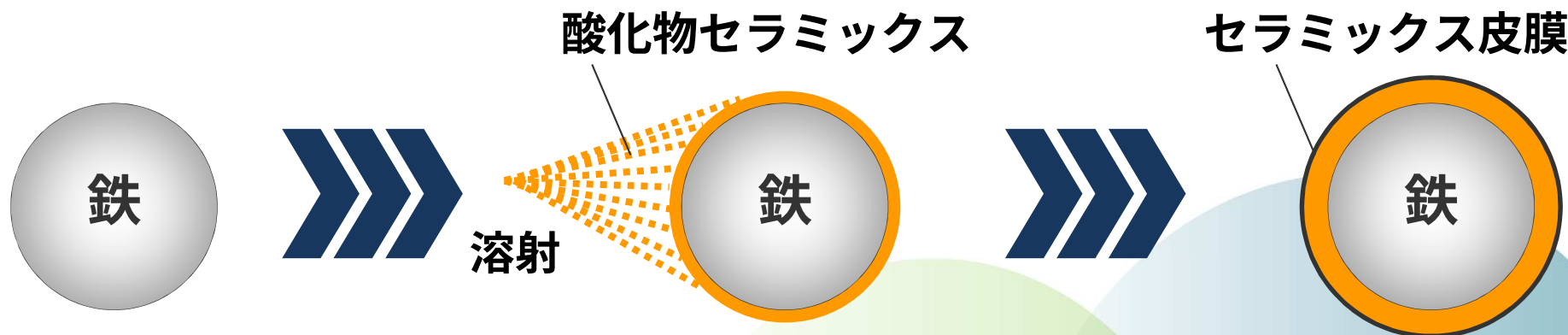
産業機械分野



溶射の原理（イメージ）



表面改質とは



顧客ニーズ

工場の生産設備の機能・耐久性向上

顧客製品の高付加価値化・高品質化

付与できる機能例

耐摩耗性

電気絶縁性

耐焼付性

非粘着性

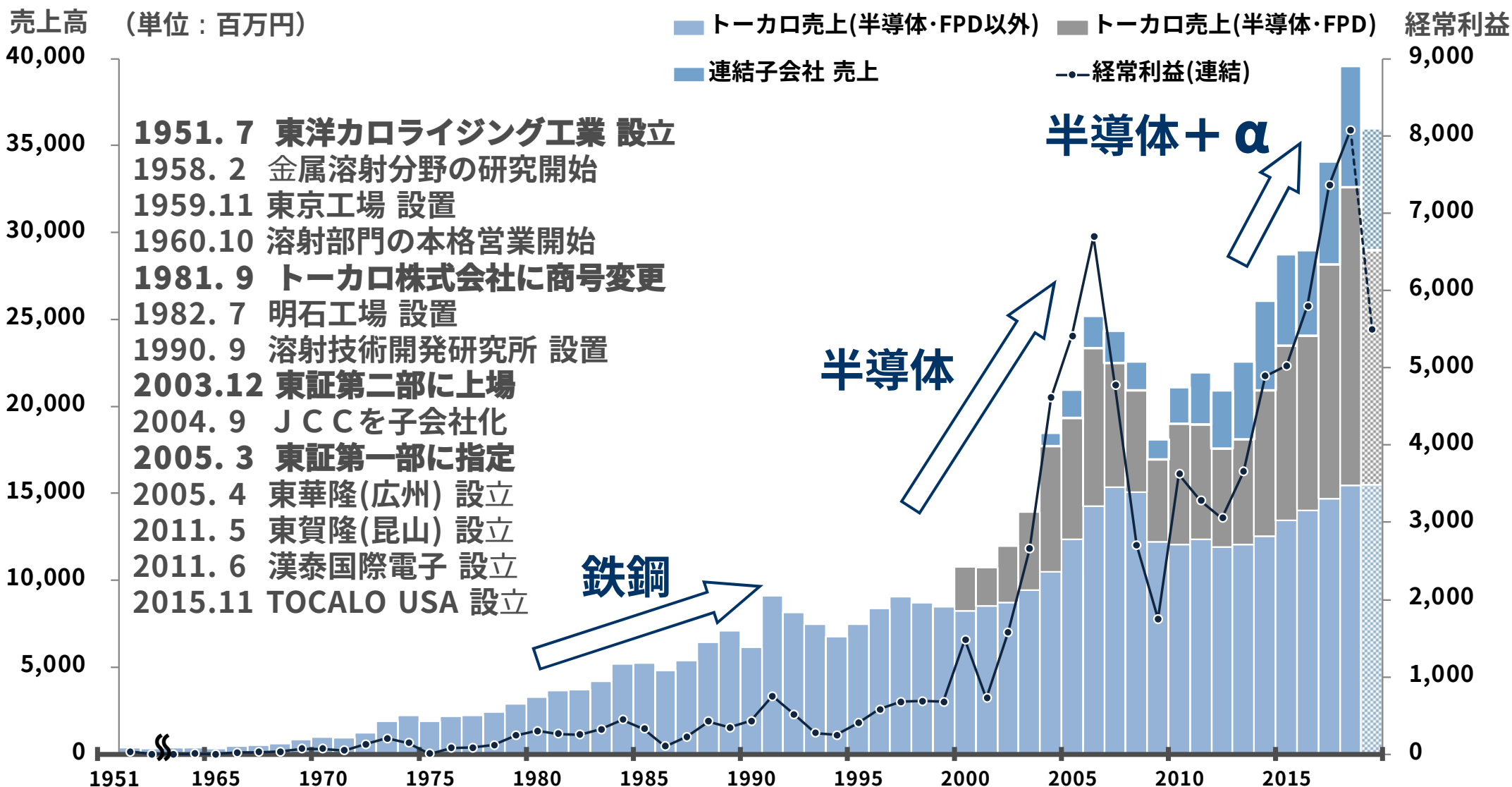
耐腐食性

撥水性

潤滑性

耐熱性

沿革・業績の推移（1951年度～）



(注1) 1990年度は決算期変更のため9ヶ月決算

(注2) 2005年度から連結決算

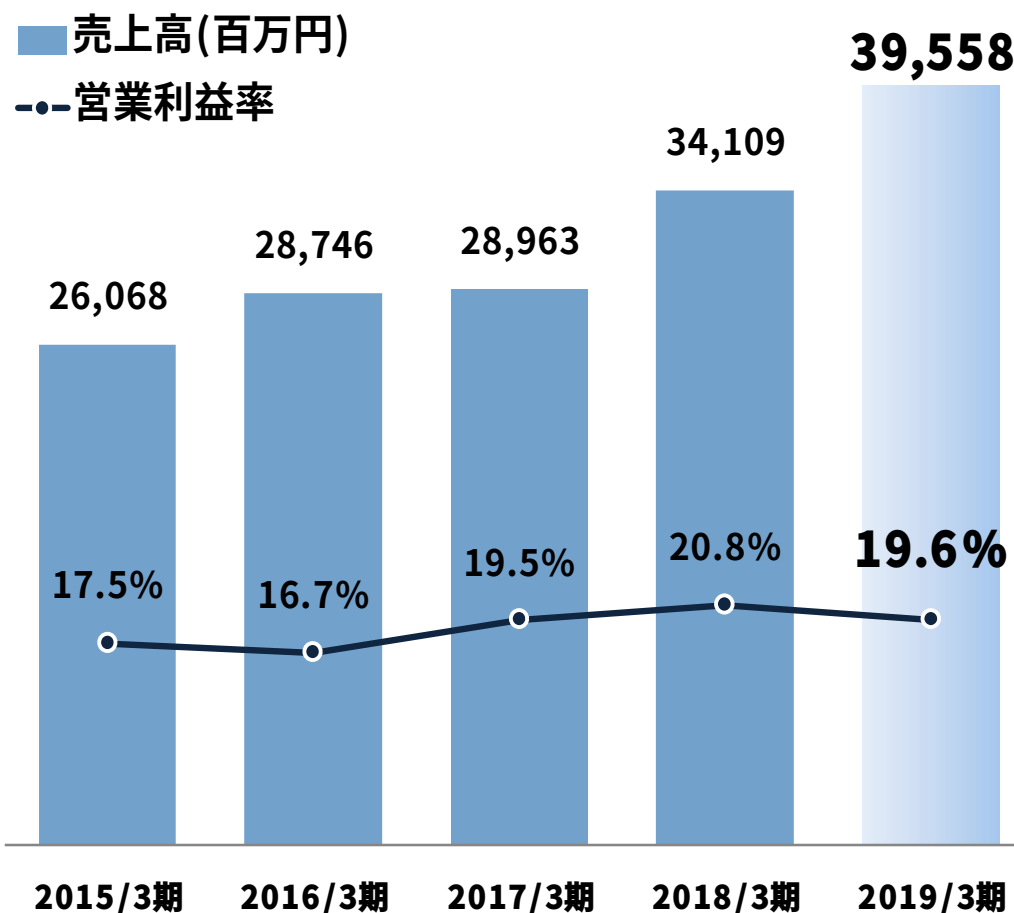
(注3) 2019年度は予想

2. 2019年3月期 連結決算の概要

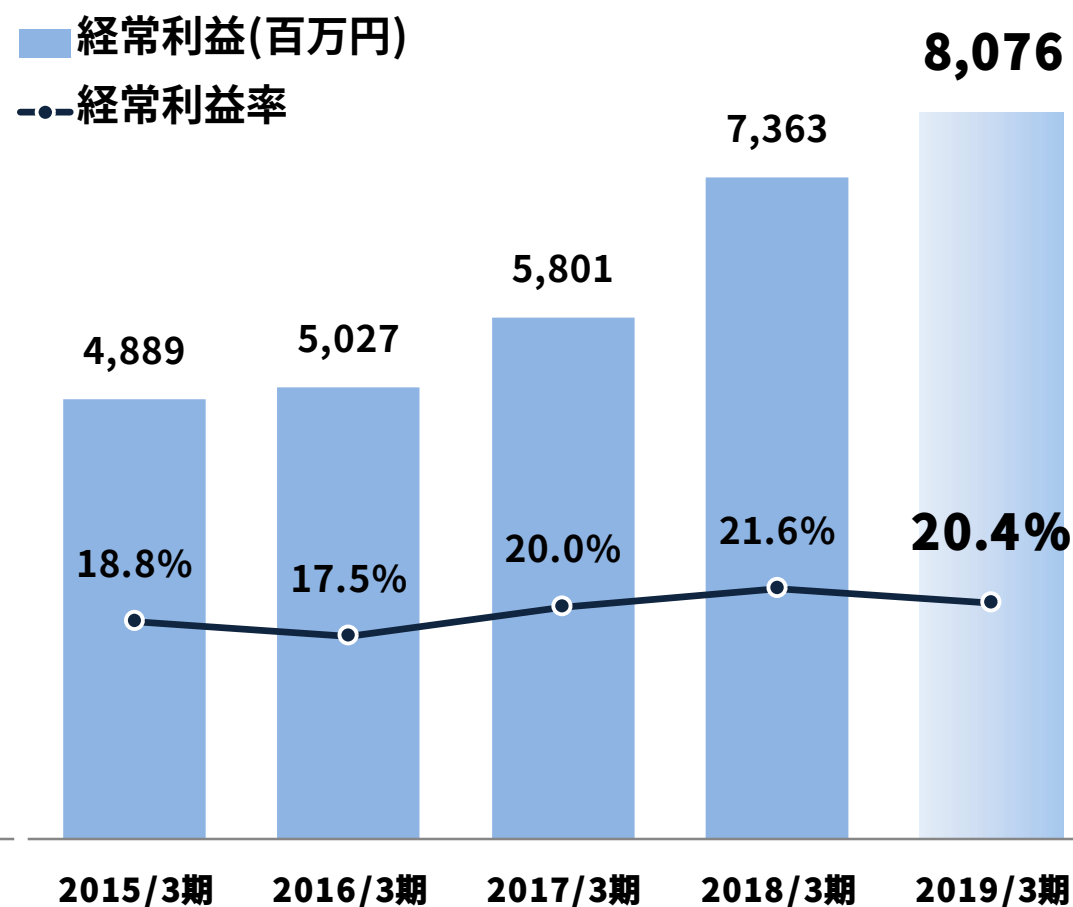
2019年3月期 連結決算 実績概要



売上高と営業利益率



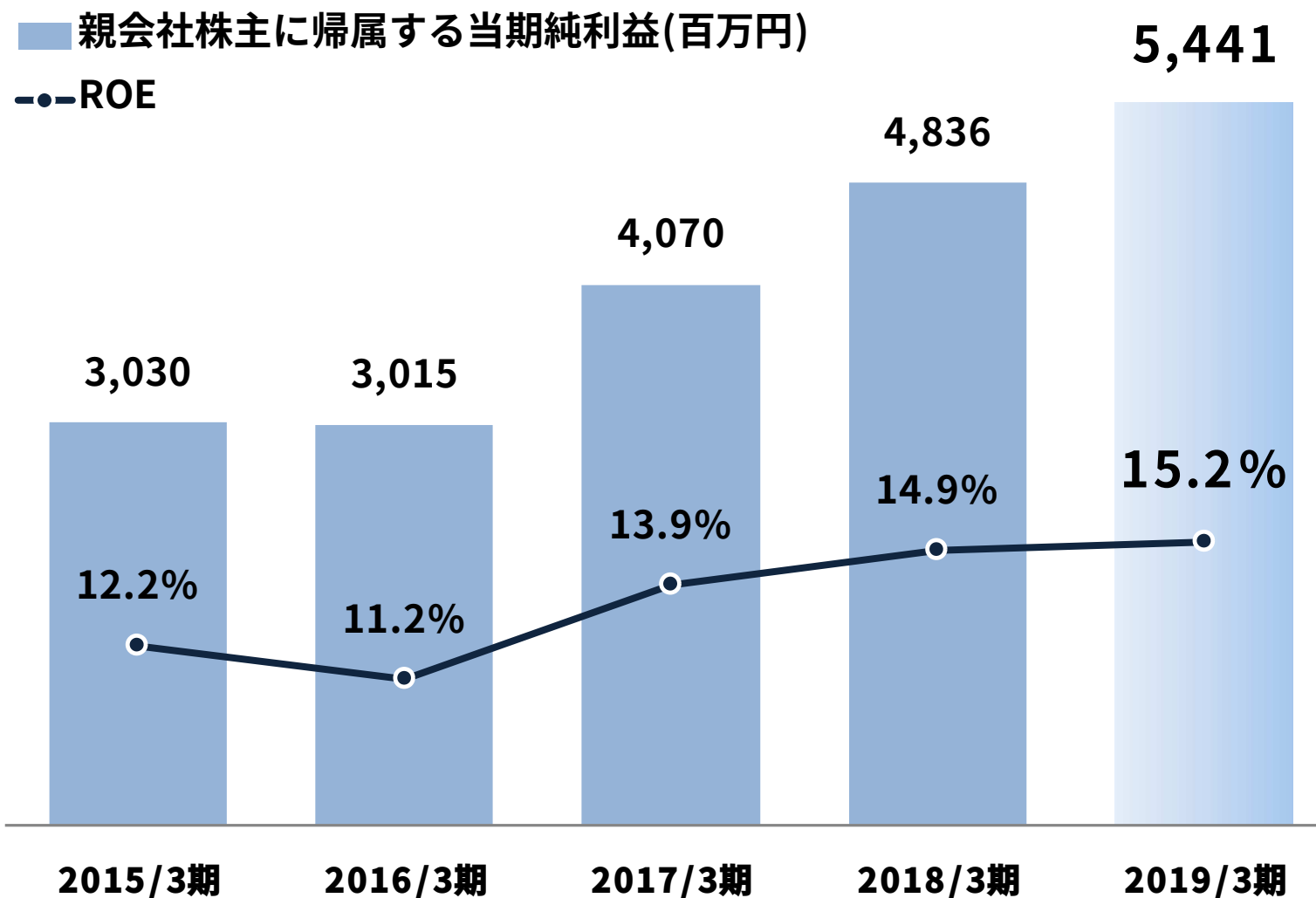
経常利益と経常利益率



2019年3月期 連結決算 実績概要



親会社株主に帰属する当期純利益とROE



2019年3月期 連結決算 実績概要



ハイライト



(1) 6期連続の増収増益（経常利益ベース）

売上・利益ともに過去最高を更新するも
半導体・FPD分野の溶射加工が下期に失速し
7月に上方修正した業績予想には届かず



(2) エネルギー分野の溶射加工が増収

スポット受注の大型プラント向け溶射加工が貢献



(3) 国内外子会社も総じて好調

半導体関連のほか中国の鉄鋼及び石油・ガス分野も拡大

2019年3月期 連結決算 実績概要

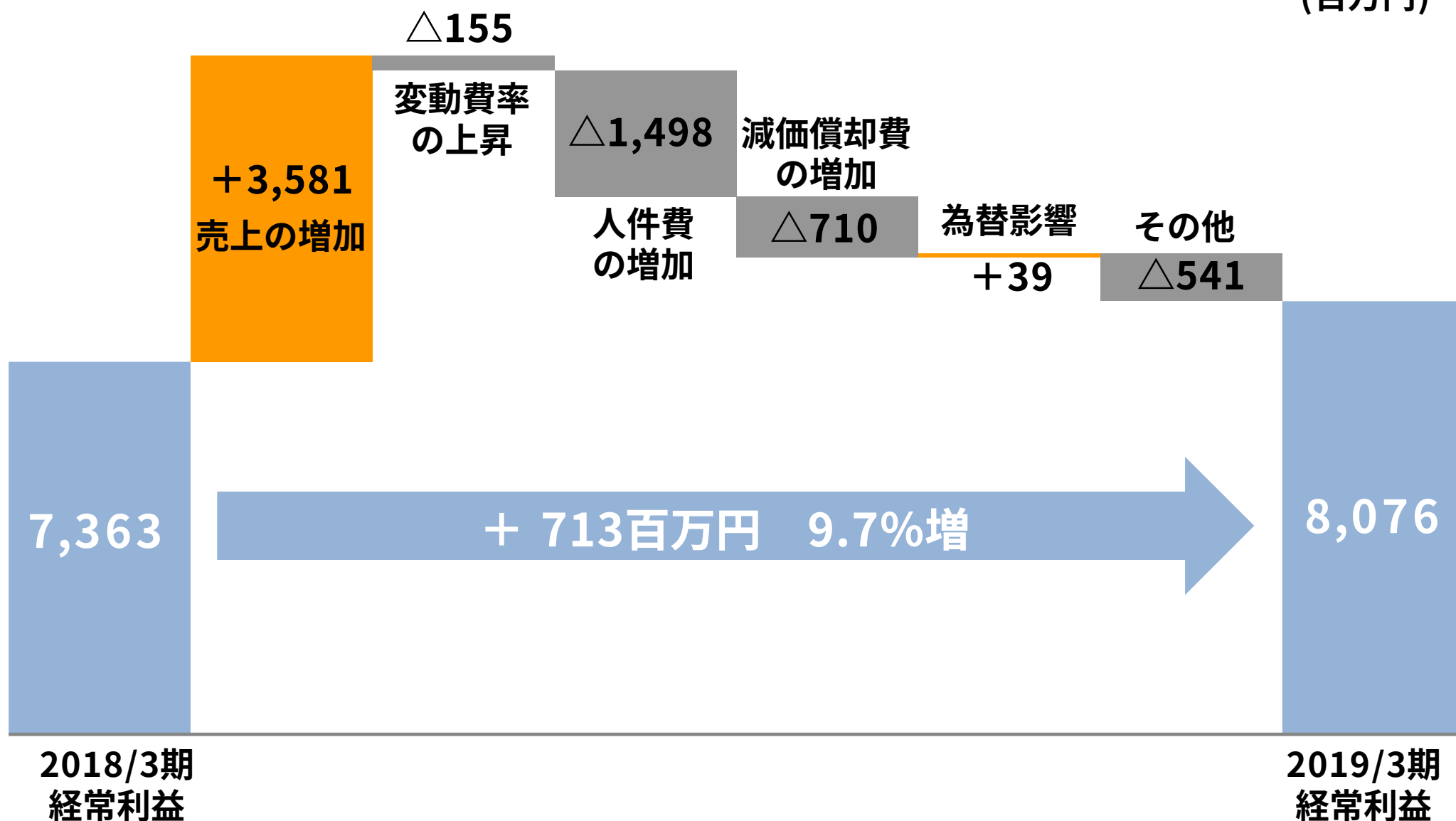


(百万円)	2018/3期		2019/3期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	34,109	100.0%	39,558	100.0%	5,449	16.0%
溶射加工(単体)	26,183	76.8%	30,400	76.8%	4,217	16.1%
半導体・F P D	13,474	39.5%	17,134	43.3%	3,659	27.2%
産業機械	4,218	12.4%	4,154	10.5%	△ 64	-1.5%
鉄鋼	3,697	10.8%	3,662	9.3%	△ 35	-1.0%
その他	4,792	14.1%	5,449	13.7%	656	13.7%
その他表面処理加工	1,971	5.7%	2,204	5.6%	233	11.8%
国内子会社	2,312	6.8%	2,493	6.3%	181	7.8%
海外子会社	3,642	10.7%	4,460	11.3%	818	22.5%
営業利益	7,110	20.8%	7,741	19.6%	631	8.9%
経常利益	7,363	21.6%	8,076	20.4%	713	9.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,836	14.2%	5,441	13.8%	604	12.5%

前年同期比 経常利益 増減要因分析



(百万円)



セグメント情報（前年同期比）

TOCALO

溶射加工(単体)

■ 売上高(百万円)

■ セグメント利益(百万円)

30,400

26,183

6,009

6,515

2018/3期

2019/3期

半導体・FPD分野が大きく伸長したほか、
その他分野(エネルギー関連)も好調で増収増益

国内子会社

2,312

502

2018/3期

2,493

545

2019/3期

自動車や建設機械メーカー向け切削工具へ
のPVD処理加工が堅調で、増収増益

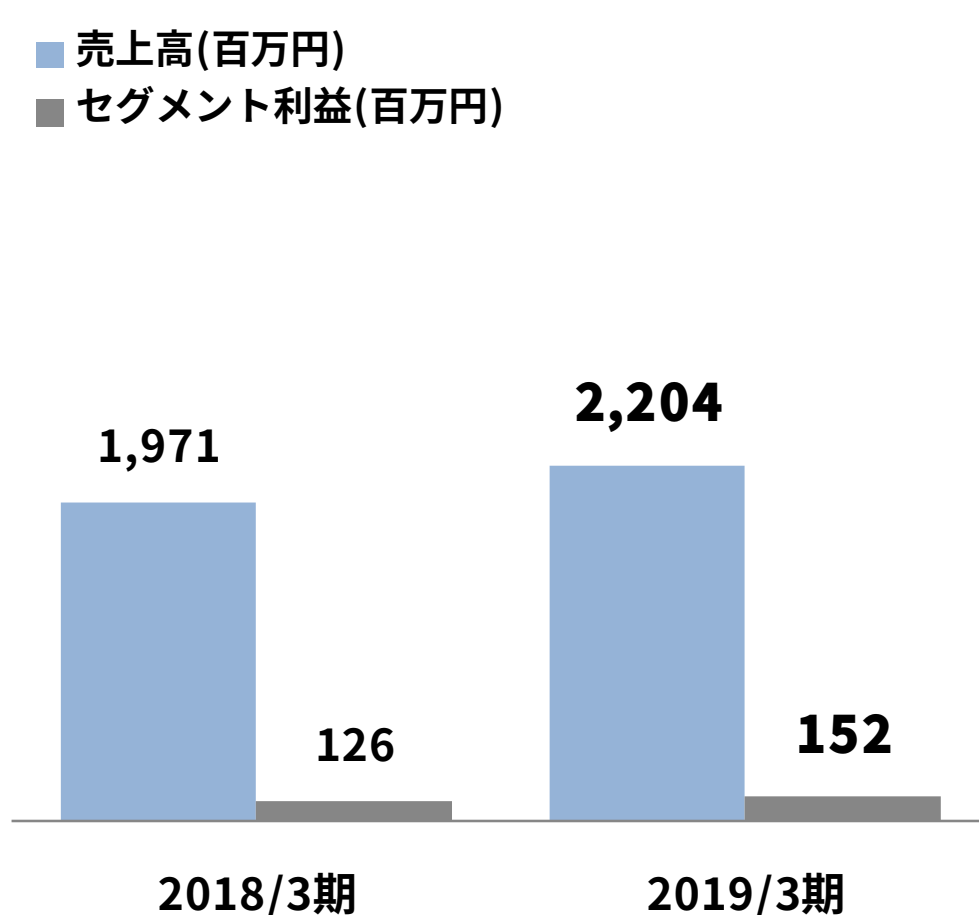
セグメント情報（前年同期比）

TOCALO

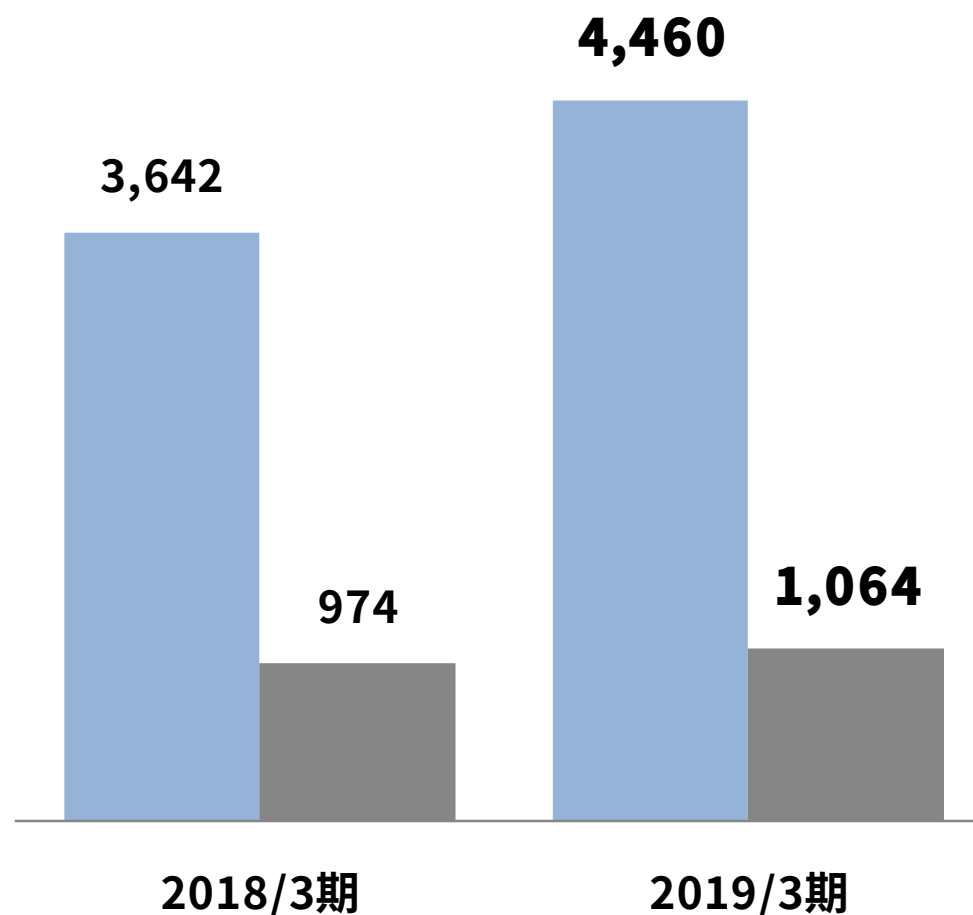
その他表面処理加工

海外子会社

- 売上高(百万円)
- セグメント利益(百万円)



LiB電池関連に当社皮膜の適用が拡大、農業機械部品向け加工も軌道に乗り、増収増益



中国（鉄鋼及び石油・ガス）、台湾（半導体・FPD）ともに好調に推移し、増収増益

セグメント情報（前年同期比）



(百万円)					前年同期比増減			
	2018/3期		2019/3期		売上高		セグメント利益	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	金額	率	金額	率
溶射加工(単体)	26,183	6,009	30,400	6,515	4,217	16.1%	506	8.4%
国内子会社	2,312	502	2,493	545	181	7.8%	43	8.6%
その他	5,613	1,101	6,665	1,216	1,051	18.7%	115	10.5%
その他表面処理加工	1,971	126	2,204	152	233	11.8%	25	20.4%
海外子会社	3,642	974	4,460	1,064	818	22.5%	89	9.2%
合計	34,109	7,612	39,558	8,278	5,449	16.0%	665	8.7%

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

財政状態

(百万円)	2018/3期 4 Q末	2019/3期 4 Q末
総資産	52,664	57,278
自己資本	34,174	37,559
自己資本比率	64.9%	65.6%
有利子負債残高	2,486	4,478

- ・ 総資産は前期末比 46億円の増加（うち、有形固定資産の増加 28億円）
- ・ 自己資本比率は前期末比 0.7ポイント上昇の65.6%
- ・ 有利子負債は前期末比 19億円の増加
（7月に15億円、3月に14億円の長期借入を実施）

キャッシュ・フローの状況

(百万円)	2018/3期	2019/3期
営業キャッシュ・フロー	7,611	8,044
投資キャッシュ・フロー	△ 4,681	△ 4,617
財務キャッシュ・フロー	△ 2,217	40
現金及び現金同等物の期末残高	8,807	12,213

- ・ 投資 C F / 有形固定資産の取得 前期 : △43億円 当期 : △69億円
有価証券の償還収入 (純額) 前期 : なし 当期 : +20億円
- ・ 財務 C F / 長期借入による収入 前期 : なし 当期 : +29億円
- ・ フリーキャッシュ・フロー (営業 C F + 投資 C F) はプラスで推移

主な設備投資について

TOCALO

2019年3月期 実績

設備投資額 59億65百万円 (※期初予定額 70億円)

トーカロ 53億95百万円

半導体・FPD分野での増産対応

(明石播磨工場 新工場棟、北九州工場 新工場棟、東京工場 改修)

次世代コーティング設備の導入

国内子会社

生産能力増強 2億80百万円

海外子会社

半導体・FPD分野を中心に 2億89百万円



(北九州工場 E棟 (2019年2月竣工))

※下期以降の半導体分野の受注環境を踏まえ、投資計画の一部を延期・縮小

3. 2020年3月期 連結業績予想

事業環境

- 半導体分野は調整局面、減速
- 表面改質ニーズの高度化
- 溶射技術の不十分な認知度

【今期のテーマ】

★半導体・FPD分野：

市場回復に備えた生産能力の増強

& 微細化への技術的対応

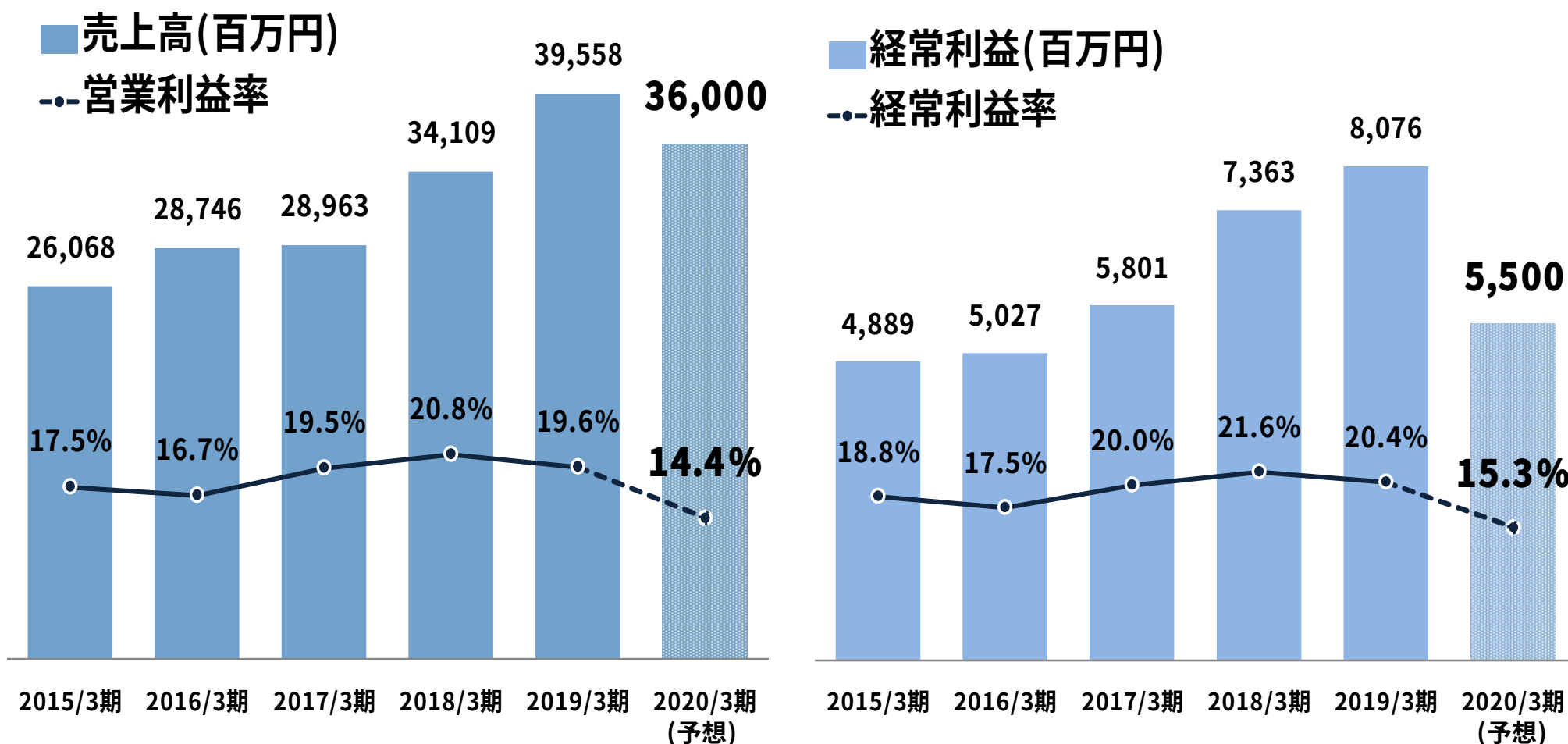
★収益源の多角化

新市場の開拓と既存市場の適用拡大

2020年3月期 連結業績予想の概要



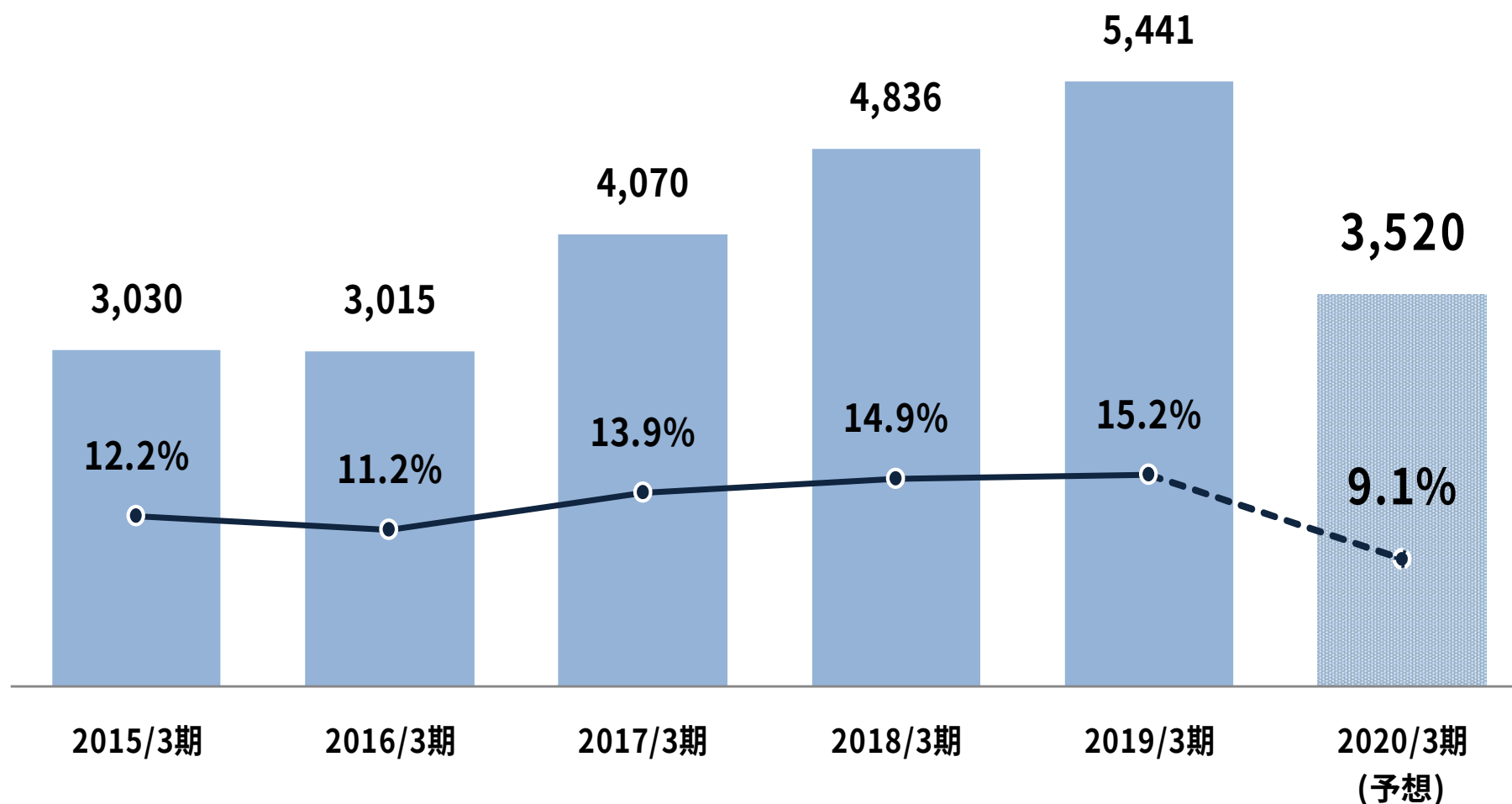
半導体・FPD分野での大幅な受注減少を見込み、
売上高 前期比 $\triangle 9.0\%$ 、経常利益 前期比 $\triangle 31.9\%$



2020年3月期 連結業績予想の概要



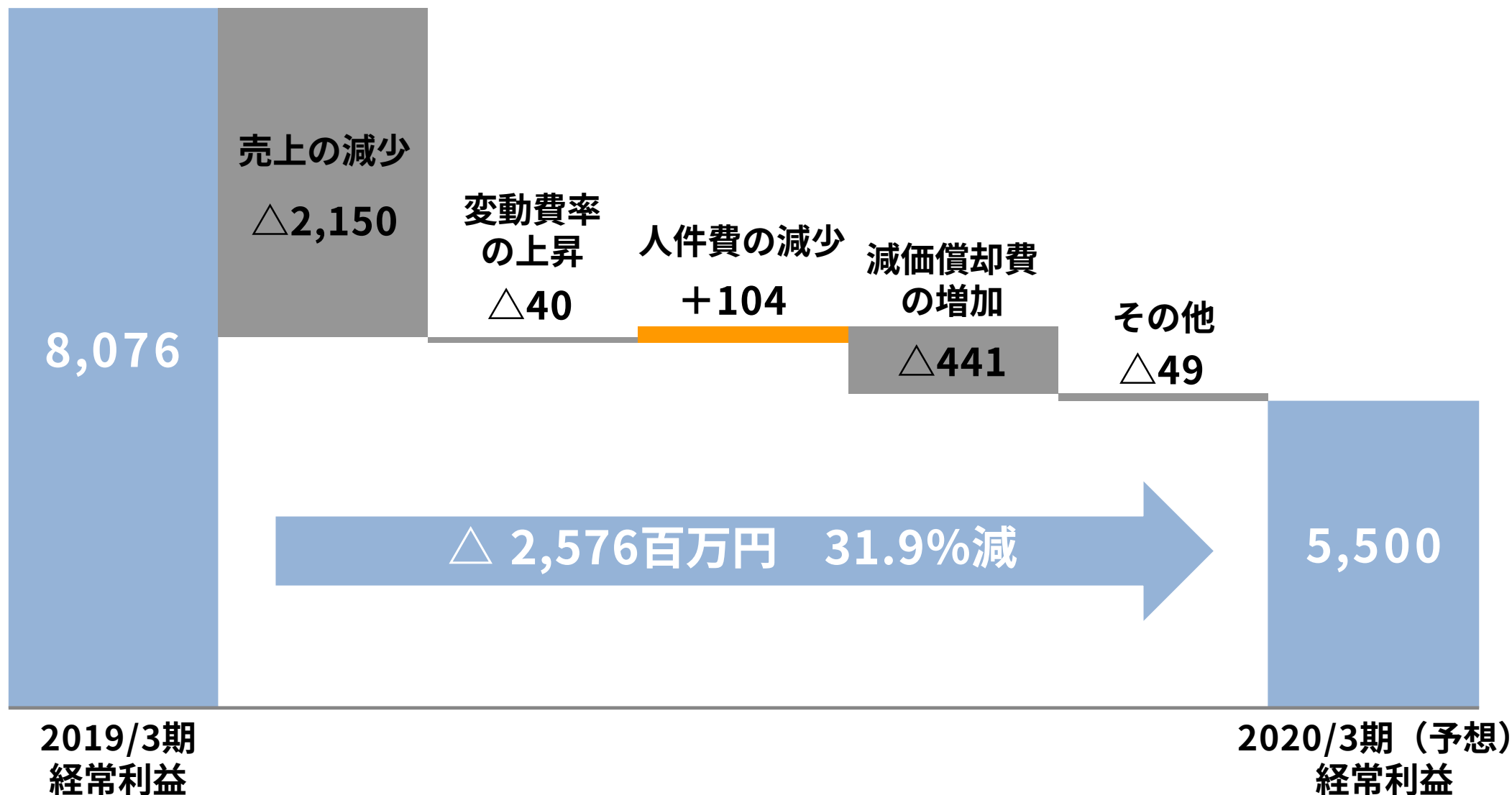
■ 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) -.-ROE



前年同期比 経常利益 増減要因分析

TOCALO

(百万円)



2020年3月期 連結業績予想



(百万円)	2019/3期		2020/3期		前期実績比増減	
	実績	構成比	予想	構成比	金額	率
売上高	39,558	100.0%	36,000	100.0%	△ 3,558	-9.0%
溶射加工(単体)	30,400	76.8%	26,658	74.1%	△ 3,742	-12.3%
半導体・FPD	17,134	43.3%	13,500	37.5%	△ 3,634	-21.2%
産業機械	4,154	10.5%	3,650	10.1%	△ 503	-12.1%
鉄鋼	3,662	9.3%	4,047	11.2%	385	10.5%
その他	5,449	13.7%	5,459	15.3%	9	0.2%
その他表面処理加工	2,204	5.6%	2,322	6.4%	117	5.3%
国内子会社	2,493	6.3%	2,553	7.1%	60	2.4%
海外子会社	4,460	11.3%	4,465	12.4%	5	0.1%
営業利益	7,741	19.6%	5,200	14.4%	△ 2,541	-32.8%
経常利益	8,076	20.4%	5,500	15.3%	△ 2,576	-31.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,441	13.8%	3,520	9.8%	△ 1,921	-35.3%

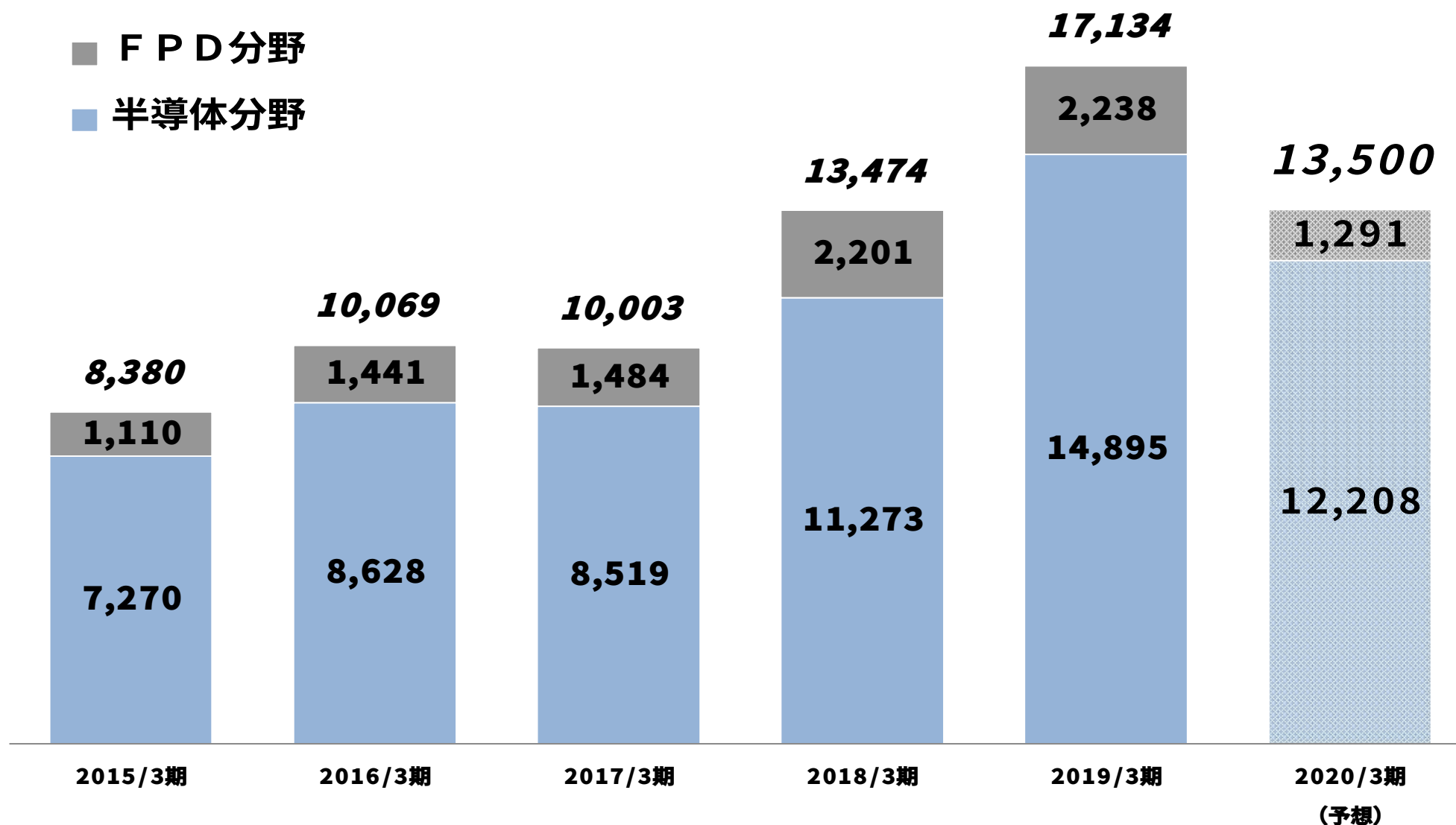
半導体・F P D分野の売上推移



(百万円)

溶射加工(単体)

- F P D分野
- 半導体分野



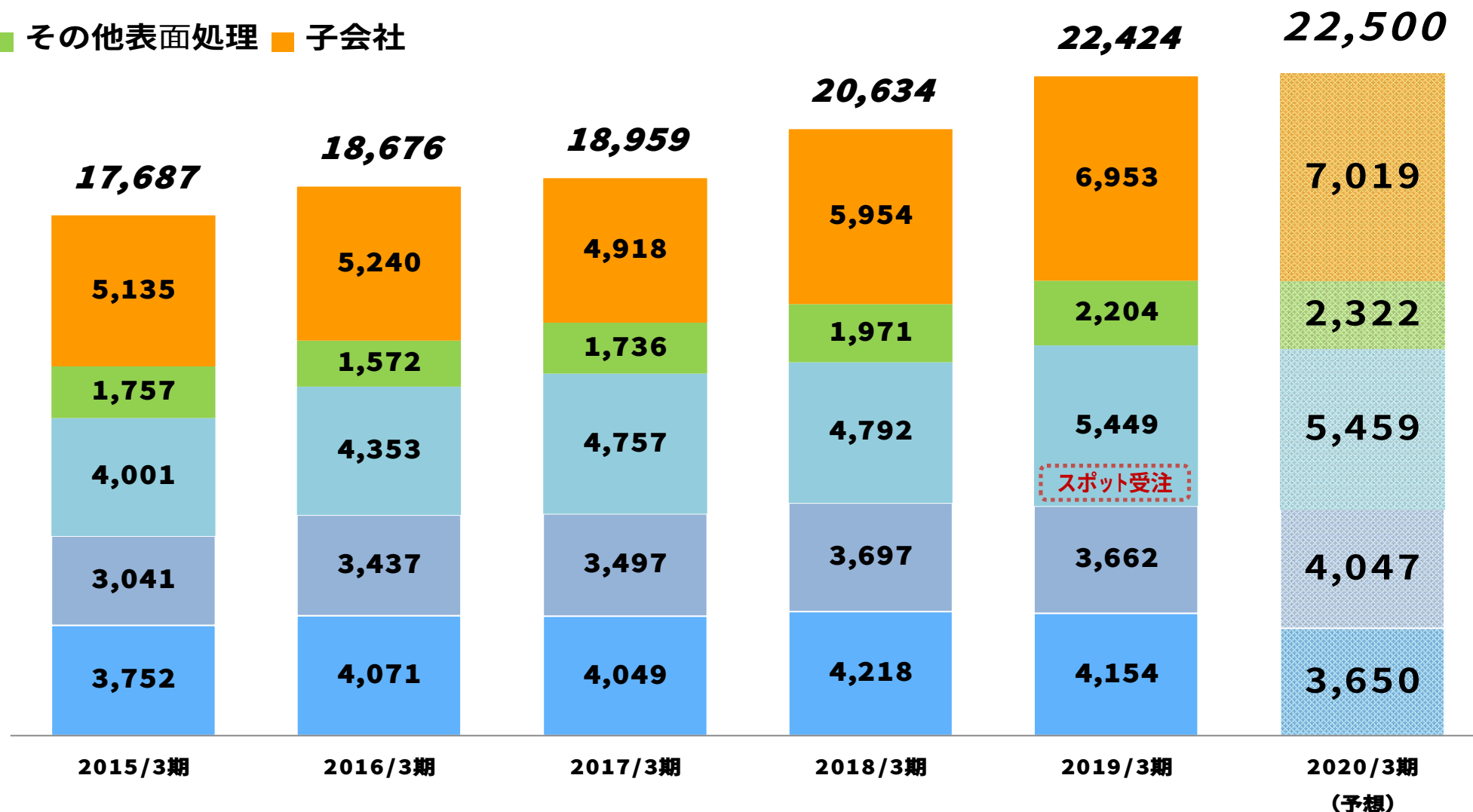
半導体・F P D分野以外の売上推移



■ 産業機械分野 ■ 鉄鋼分野 ■ その他溶射

(百万円)

■ その他表面処理 ■ 子会社

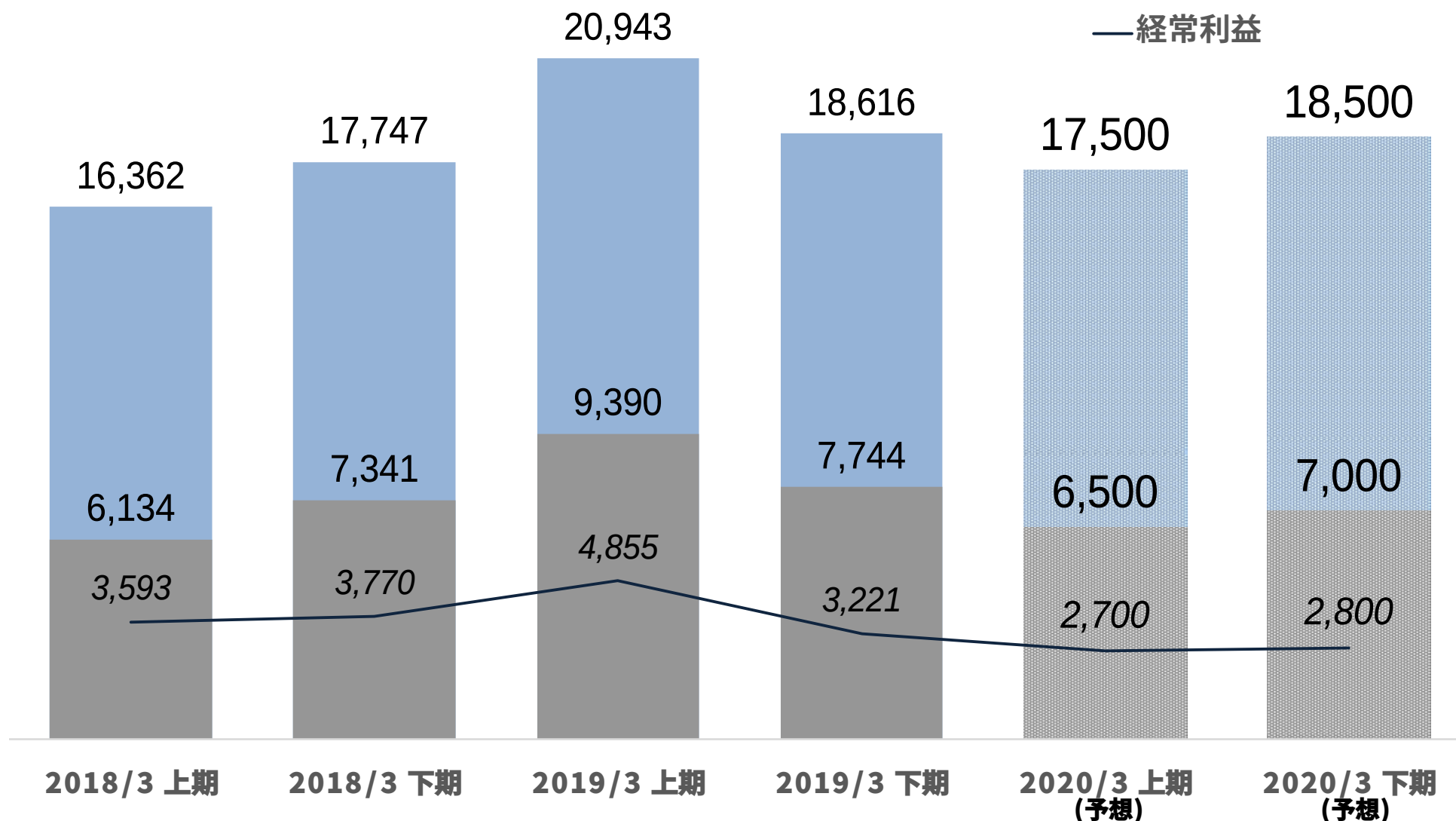


売上高・経常利益の半期ベース推移



(単位：百万円)

■ 売上高
■ 半導体・FPD売上高
— 経常利益

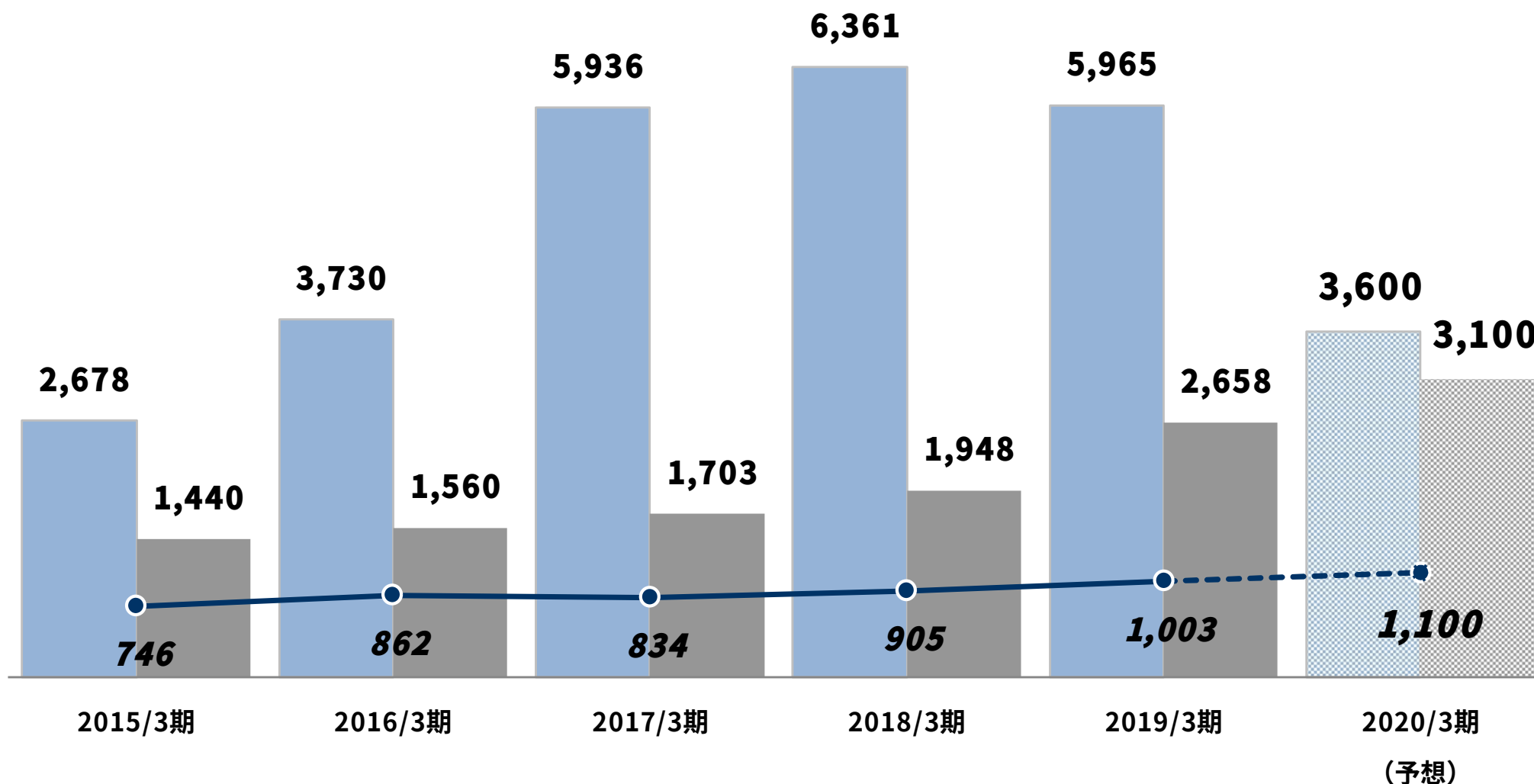


設備投資額・減価償却費・研究開発費



■設備投資額 ■減価償却費 -●-研究開発費

(百万円)



設備投資計画について

2020年3月期 **設備投資予定額** **36億円**

トーカロ **26億円**

- ・次世代コーティング設備の導入

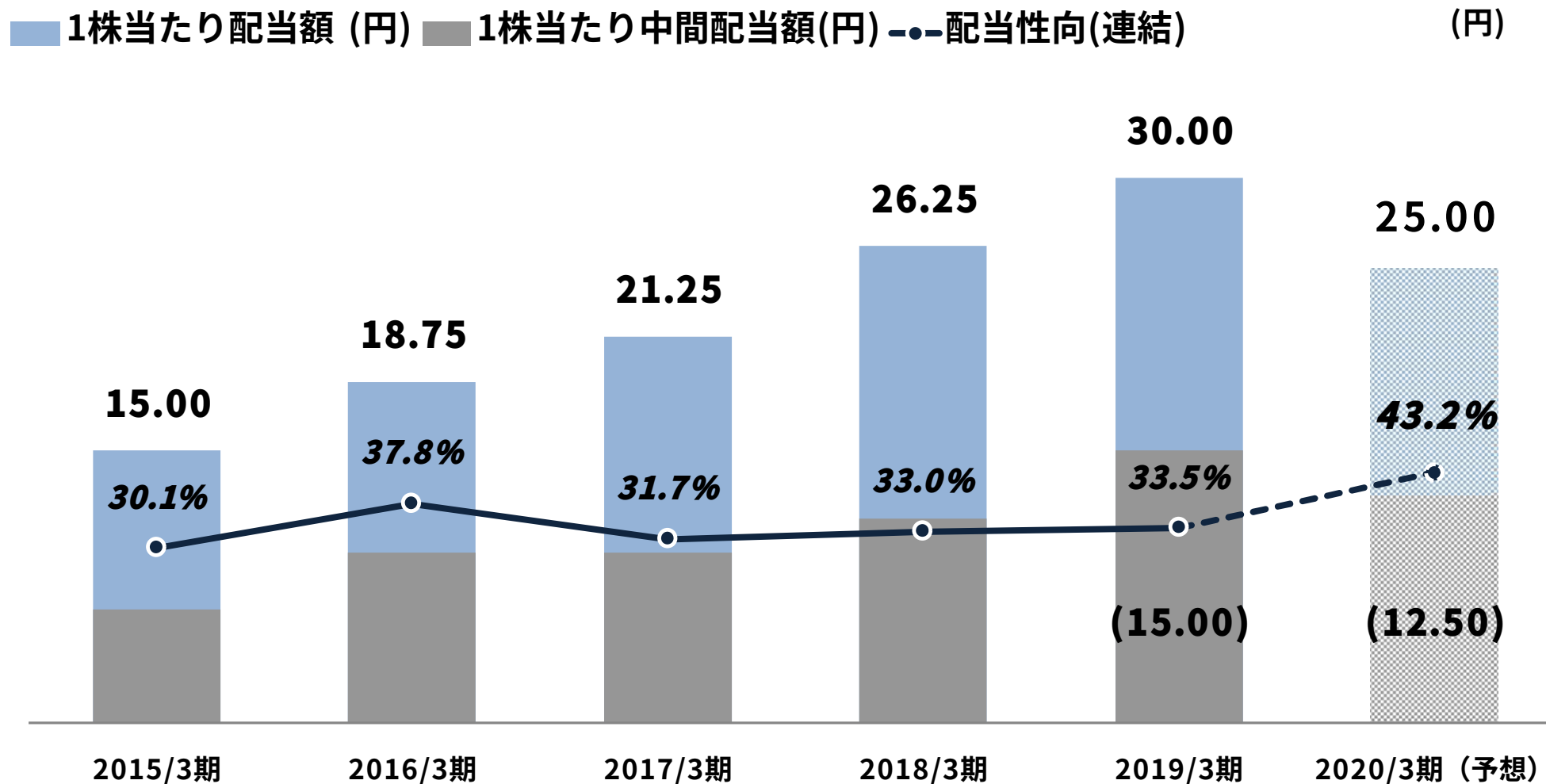
国内子会社

- ・生産能力増強 **5億円**

海外子会社

- ・半導体・FPD分野を中心に **5億円**

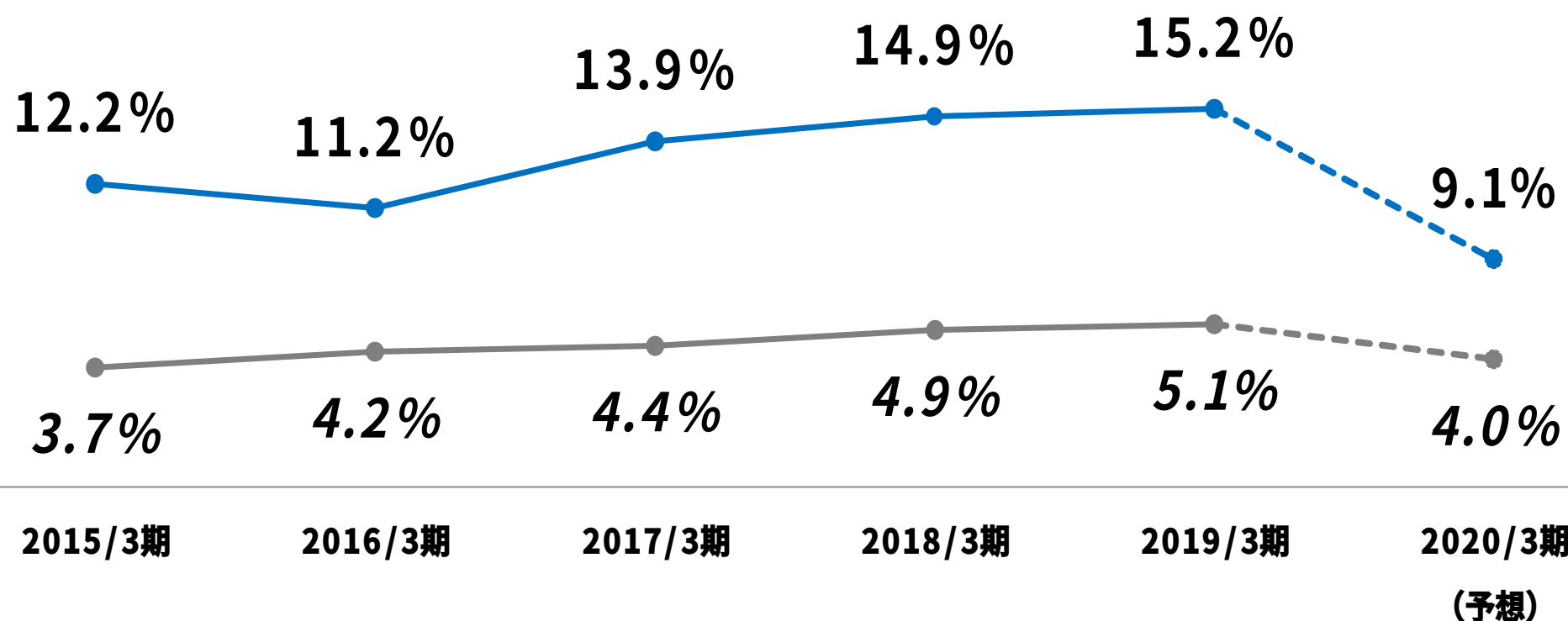
1株当たり配当額・配当性向の推移



(注) 2015/3期～2017/3期の1株当たり配当額は、株式分割を考慮した数値に換算しております。

ROE・純資産配当率の推移

● ROE ● 純資産配当率



ROE (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本

純資産配当率 = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= ROE × 配当性向)

4．持続的成長の実現に向けて

トーカロの成長戦略 II

新商品の開発 及び 新市場の創出

ターゲット市場の5本柱

- 1.半導体・FPD
- 2.新素材
高機能鉄鋼材料、
高機能フィルム、紙／不織布 etc.
- 3.エネルギー・環境
- 4.輸送機
高速鉄道、航空機 etc.
- 5.医療

継続成長のためのアクション

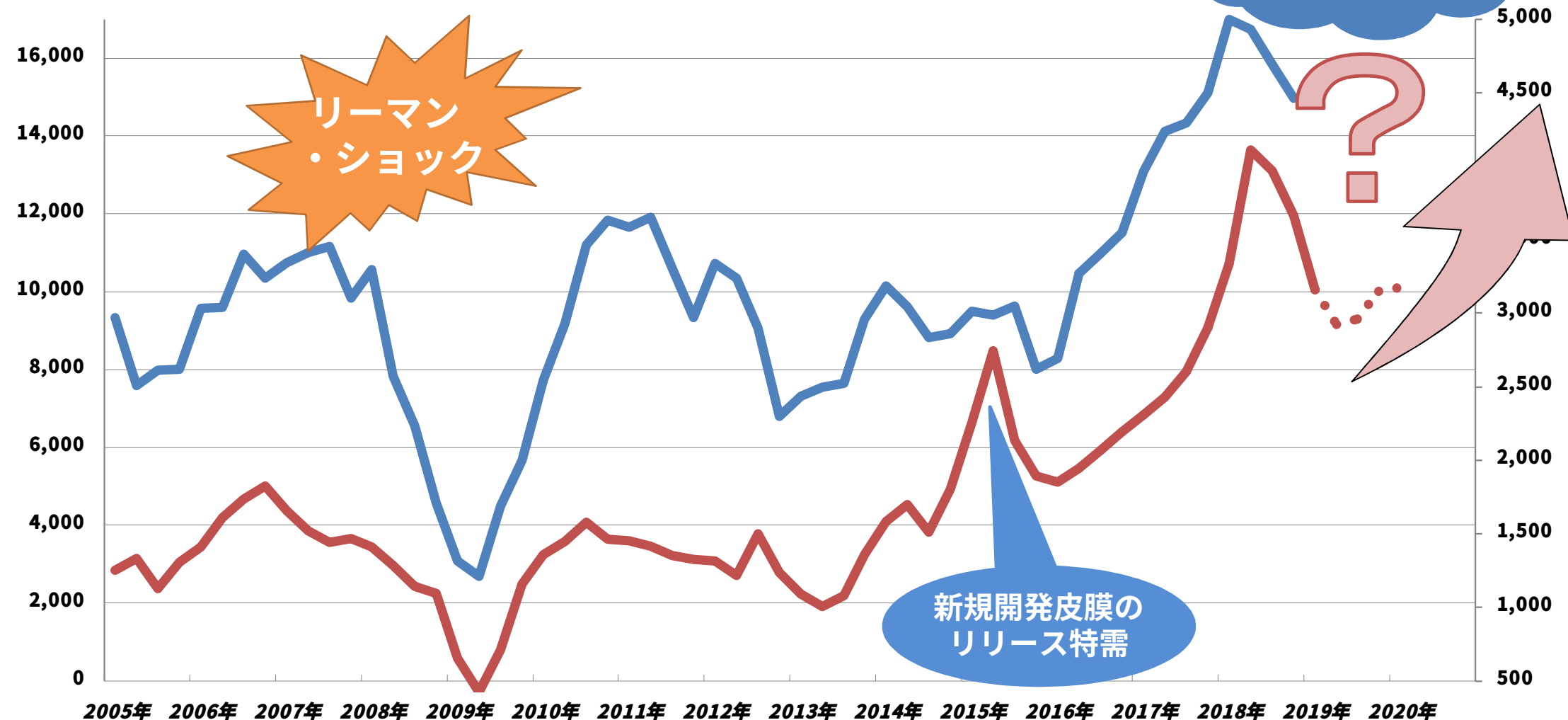
- ①収益源の多角化
 - ・ターゲット市場分野での
商品開発と既存市場の適用拡大
- ②半導体・FPD分野
 - ・市場回復に備えた生産能力の増強
 - ・次世代皮膜の技術開発
- ③グローバルな展開
 - ・メンテナンスビジネスの強化
 - ・現地化（子会社、関連会社）と
技術供与（ライセンスビジネス）

半導体関連販売高（世界 vs. トーカロ）

TOCALO

— 世界 半導体製造装置 販売高（百万ドル/四半期、左軸）

— トーカロ 半導体分野 売上高（百万円/四半期、右軸）



（日本半導体製造装置協会「世界統計 (WorldWide SEMS Report)」の四半期(暦年)データに基づき作成）

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

参考資料

経営指標ハイライト



(百万円)	2015/3期 実績	2016/3期 実績	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 実績	2020/3期 予想
受注高	27,137	28,343	29,506	36,851	38,915	-
受注残高	3,843	3,440	3,983	6,725	6,081	-
売上高	26,068	28,746	28,963	34,109	39,558	36,000
営業利益	4,568	4,805	5,645	7,110	7,741	5,200
経常利益	4,889	5,027	5,801	7,363	8,076	5,500
経常利益率	18.8%	17.5%	20.0%	21.6%	20.4%	15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,030	3,015	4,070	4,836	5,441	3,520
1株当たり当期純利益 (EPS)	49.85	49.60	66.95	79.56	89.51	57.90
総資産	36,646	37,992	44,331	52,664	57,278	59,707
自己資本	25,982	27,778	30,647	34,174	37,559	39,407
自己資本比率	70.9%	73.1%	69.1%	64.9%	65.6%	66.0%
自己資本利益率 (ROE)	12.2%	11.2%	13.9%	14.9%	15.2%	9.1%
総資産経常利益率 (ROA)	13.9%	13.5%	14.1%	15.2%	14.7%	9.4%

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益/期中平均自己資本、ROA＝経常利益/期中平均総資産

当社は2018年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の株式分割を実施しており、2015/3期～2017/3期の1株当たり当期純利益(EPS)に関しては、当該株式分割を踏まえて換算しております。

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、今後さまざまな要因により予測数値と異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

トーカロ株式会社

経営企画室

TEL: 078-303-3433 (代)